

2026

3

真宗大谷派京都教区教化広報誌

# 教区だより

第9回連載

## 「女性教化」の近・現代史を紐解く

—真宗大谷派の場合—

大谷大学文学部歴史学科教授 福島 栄寿 氏

特集

### お齋場レポート

特集

### 御正忌報恩講

## 今、この時に、親鸞聖人に会う

石西組 西山 岳 氏

# 「女性教化」の近・現代史を紐解く

—真宗大谷派の場合—

大谷大学文学部歴史学科教授

福島 栄寿



第9回

## 苦い思い出（その三）

### 「あの一言」の女性観

前回までの二回、私の「苦い思い出」について述べました。『精神界』で「精神主義」を提唱した浩々洞（こうくわうどう）を編集場所として、他方で『家庭』という女性向けの教化雑誌が発行されていたこと。その教説は、男尊女卑的で良妻賢母主義の思想をまとったもう一つの「精神主義」の教説であったこと。思想史研究に取組むなかで、私は、その『家庭』という雑誌の存在とその教説の特徴を知るにつけ、愕然とさせられたこと。それと言うのも、同誌の論説が教え諭す内容は、私が育った家庭環境では特に違和感のないものでした。要するに、同誌に語られた教説は、私が無意識に身に付けて育った男女の固定的な役割を是とする家父長的な価値観のオンパレードでした。何より、私の「苦い思い出」が生まれる原因となった「あの一言」には、「女性は純真無垢なままで嫁に行くべきものだ」という、まさに偏固な女性観が含まれていたわけです。

### 「あの一言」の記憶を辿れば

しかし、考えてみれば、「あの一言」は、私がその時、その場で考え、発したのかといえは、そうではありません

せんでした。一度耳にして記憶に残っていた言葉が、とっさに口を突いて出たとしか思えないのです。というのも、あの一言の記憶を辿ると、実は、私が保育園児の頃、ブリキ製のおもちゃを幼い妹の顔に当ててしまい、両親から酷く叱られたという出来事に行き着きます。そして、六年生の頃、その出来事がたまたま家族で話題となった折、父が冗談っぽく言った言葉が、あの「○子の顔に傷がつかなくてよかったです。嫁に行けなくなる」の一言だったのです。親の発した価値観を含む言葉は、恐ろしいことに、それを聞いた子の脳裏に、親のお墨付きの「正しい言葉」として記憶されるものなのかもしれません。

### 「家庭」にみる典型的な女性観

先程、『家庭』誌の教説の内容は、私が育った家庭環境では違和感のないものであったという趣旨のことを述べました。具体例を一つ挙げてみましょう。例えば、『家庭』第二号の巻頭の論説「女子界に於ける二個の暗流」には、

家庭の夫妻は、夫（男子）は強剛かつ大雑把だけれども、妻（女子）は柔和かつ綿密であるから、互いの不足を補い合い、夫は戸外の仕事を、妻は家

内で家事を担当し、互いに助け合うことではじめて一家が成り立つのである。なんと自然の組み合わせの不思議なすばらしさであることよ。（筆者意訳）

と、理想的な夫婦の役割分担について、男女の自然の道理として説いています。こんにちでは、こうした考え方は、男性は男らしく、女性は女らしくなければならぬという、いわゆる「ジェンダー規範」に則った固定的な性別役割分担意識の現れとして受け取られることでしょう。

「なんであなたのお父さんは、あんなに威張っているの？　なんで自分は何も動かないで、お母さんに命令ばかりしているの？　あなたも同じじゃん。信じられへんわ！」これは、結婚後初めてのお正月に私の家に遊びに来た妻が、帰りの車の中で私にぶつけた言葉です。私の家では当たり前であった家族の関係のあり方を、真正面から否定された私は、何も言い返すことができませんでした。



出版部会 長浜第24組 明樂寺 藤谷 法子



思い出レシピ

人口激減、少子高齢化、過疎化の北國街道木之本宿<sup>（じゆま）</sup>。明樂寺はそんな田舎にあるお寺です。玄關のベルが鳴って出ると「日野菜<sup>※1</sup>を漬けたんやけど食べてね」「あんた沢庵<sup>※2</sup>たべるか？」と毎日のように美味しいものを持って、門徒さんが来られていました。というのも今は亡き前住職が無類の漬物好きで、お年忌の際に各家庭のお漬物をいただき「美味しい、美味しい」と言っていたようで「それならもつと食べてほしい」と持つてきてくださる方が、沢山いらっしやいました。実際にいただくと、どれも本当に美味しく、思わずお電話でレシピをお尋ねしたり、お宅にお邪魔して味噌づくりを見学させていただいたりしました。今から思えば、ずいぶん図々しいことをしていた若造だったなあと、苦笑いするばかりです。もう二十年くらい前の

話です。

ある時、ご両親亡き後、手放すことになった実家の蔵から出てきたのだと、数十年前にお母さまが漬けられた奈良漬の桶を持ってこられた方がいました。恐る恐る取り出してみると、琥珀色に輝く、これまで味わったことのない素晴らしい奈良漬でした。その年の報恩講のお齋に添えさせていただき、参拝の皆さまにも大変喜んでいただきました。振り返ってみると、食いしん坊の私と門徒さんたちとの「食」にまつわる思い出は数えきれません。

今では、料理好きな中堅オカンとして近所のベテランオカンの皆さんと一緒に、郷土料理を守り伝える活動を始めて十五年になります。

最近では、お寺のお齋場から聞こえてくる近所の「オカン」たちの賑やかな声に誘われたのか、若い主婦の方も訪ねてこられ、明樂寺で作る日々の漬物や郷

土の食を、「新米オカン」として季節ごとにSNS<sup>※2</sup>で発信してくださっています。これがまた、とても面白いのです。よかつたらご覧ください。

思えば、「もつと若い人にもお寺に来てほしい」「何か新しいことをして人を呼びたい」と意図して始めていたら、面倒くさがりの私は、きつと途中で息切れしていたことでしょう。いただいたご縁を、そのまま自然に楽しんでいただけなのに、いつの間にかお寺のお齋場とのさまざまな繋がりが生まれています。

今はもう会うことのできない、懐かしい門徒さん方との思い出と共に……

南無阿弥陀仏

※1 日野菜・カブの一種で、漬物にすると淡いピンク色になる。

※2 Instagram「発酵オカン ツポのソコ」



日野菜



絶滅危惧種になりつつあるお齋料理「たくあん」の賞沢煮<sup>（あなづき）</sup> 坊守作



奈良漬<sup>（ならづけ）</sup>や味噌のツポ<sup>（つぽ）</sup>が置いてある明樂寺の土間

ベテランオカン達を取材する新米オカン

真宗本廟（東本願寺）  
御正忌報恩講

## 二〇二五年御正忌報恩講に参勤して

出版部会 山城第4組 光久寺 徳田 潤子



二〇二五年十一月二十一日〜二十八日の東本願寺の御正忌報恩講に参勤いたしました。前日の二十日の昼から研修道場に入り、早速二十一日から御正忌が勤まりました。初参（初めて参勤すること）ということでも不安な気持ちはありませんでしたが、毎日勤まる法要に出仕する毎に、この場に足を運んでくださる方、映像を通して手を合わす御門徒様がいて下さる重みを噛みしめながら過ごしました。

またこの期間に出逢った先輩やお仲間とは交流を持ち、学ぶことも多く大変有意義な時間となりました。

今回参勤された女性の先輩からは、女性が期間の長い法要（特に今回のような御正忌）に参勤する際の苦勞、男性と少人数である女性の声を合わすために研究された事等をお聞きしました。先達のこうしたご苦勞のおかげもあり、女性が参勤しやすい環境が整えられつつ

あることに、有難みを感じました。

特に私もお勤め時の悩みとして男性の声とどのように擦り合わせようかということがありました。御正忌期間中、試行錯誤しながら声を出していると、ある先輩から「女性の声がいっしょに聞こえてくると楽しいと思った。もっと声を出してほしい」と言葉をかけていただき、大変励みになりました。

そして結願日中に執り行われる「坂東曲」は非常に重厚な雰囲気の中、勤まりました。緊張しながら御影堂の定位置に着座した際、以前に補導として御正忌報恩講の期間に向化した時のことを思い出しました。東北教区の奉仕団の担当をさせていただいた時、ある門徒様の「御正忌に参詣する為、道が凍っている早朝からバスに乗り合わせて皆で山を降りて命がけでここまで来た」という言葉が頭によぎり、今改めて御正忌にかける門徒様の熱意となって胸に

響きました。そんな門徒様に私はお返しができているかが問われ、私にとっては二十二座のうちの一座であっても、参詣者にとつては一生に一度の縁かもしれない。その重みを胸に、出仕しました。身体を揺らしてお念仏をいただいているうち、かつて親鸞聖人が北国の厳しい寒さや荒波の中で必死に念仏の道を歩まれたその姿が思い浮かびました。「ただ念仏して、弥陀にたすけられまいらすべし」と説かれた一筋の道に込められた情熱を身体全体で受け止められたような感覚になり、こうして私達が聖人の教えに触れられていることが、当たり前前ではないことを痛感しました。

「坂東曲」の終わりは報恩講の終わり翌日からは新しい一年が始まるといわれております。この期間に出逢った皆様と御正忌を迎えられた喜び、そして坂東曲が終わった後の寂しさが沁みてきました。この御正忌で諸先輩方からいただいた学びを、次の方々へ繋いでいく決意を新たにしました。

最後に、御正忌に送りだして下さった教区准堂衆会の先輩方、門徒様、家族に厚く感謝いたします。南無阿弥陀仏

※1 坂東曲（「坂東節」とも書く）…

本山報恩講の結願日中（11月28日）のお勤めで、座ったまま上半身を前後左右に振って念仏を称えるお勤め。その起源は「親鸞聖人が揺れる船で念仏をされたことによる」「蓮如上人が揺れる船中で、報恩講をつとめられた念仏による」等の諸説がある。

※2

補導…正式名称は「同朋会館補導」。同朋会館教導と共に真宗本廟奉仕団として真宗本廟（東本願寺）にこられた方々に、法話・座談を行う役割を持つ。



坂東曲

今、この時に、

# 親鸞聖人に会う



## 同朋社会実現への挑戦

石西組 西蔵寺  
西山 岳



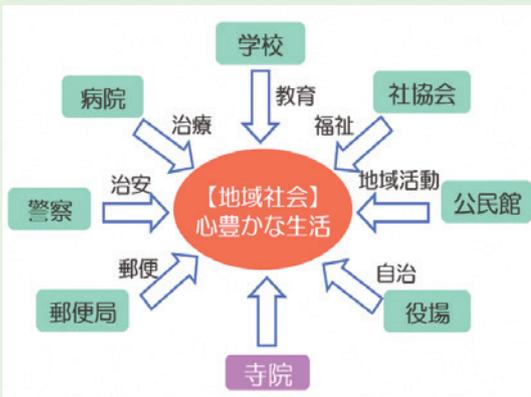
十年前、定年後すぐ島根の実家に帰り、親の介護と共に住職を継ぐことを決めた。『正信偈』もまともに勤められず、ビジネス思考優先で入寺した。

仏法書籍やネット講座で教義を学ぶ傍ら、仏教が何故ここまで衰退し、不要論まで出るのか疑問をもった。それが切っ掛けとなり、教化事業という活動を微力ながらビジネス思考で取り組みようと試みた。

企業には必ずミッション（存在意義）

があり、全社員がその達成に向け活動を展開する。大谷派には「同朋社会を顕現する」というミッションが宗憲にある。このことを自坊で話した時、ある門徒さんから「意味分かん」と言われ、私も説明できなかった。

そこで、組教化委員会にて、このミッションが意図する有るべき姿について意見交換を行い、理解しやすい表現として5W1Hで独自集約を行った。その結果は「いつでも・どこでも・宗門に属する者が・全ての人々に・仏の教えを伝えて・心豊かに生きることのできる社会を実現する」とした。ここで重要な視点は、宗門の全ての人が、色々な場所で、無宗教や他宗教などあらゆる人に向けて、自信教人信を尽くすこと



※2 (添付図) 寺の役割とは

とであるが、程遠い現実を改めて知った。また、この現実を、添付図にて別の視点でも話し合った。地域の全ての組織、団体には明確な機能があり、認知されている中で、寺院の機能とは何か。かつては、役所や教育などといった役割が存在したが、現在は全て専門組織に機能移管され、寺院の機能が不明瞭になった。この機能が不明とは存在する意味が無いことであり、是非考えて頂きたい。組内では、「智慧と慈悲」「人の心」「まごころ」など意見があった。

このミッション達成に向けて、二つの課題を検討している。一つは、地域へのお向き方、二つめは、何を伝えるか。

先ず、地域にお向く教化を個人的に試みた。町内の社会福祉協議会に打診したところ拒否された。理由は単一宗派では受け入れが出来ない、だが仏教会としてなら可能だと。公的な場に出ていく大きな障壁が存在する。これを受けて、禅宗が約半数を占める町内仏教会に働きかけてきた結果、10年かけてやっと議論ができる状況に漕ぎつけた。これから、仏教会として地域に何を成すべきかを議論していく。

次に、何を伝えるか。特に働き盛りの宗教無関心な若者に向けて、通夜

や法事の数分程度の法話に何を話すか。これは今後組内でも議論したい。若者にどうなって欲しく、その為に法話の骨子とは何かを。

これまでの具体的な活動は、岡崎教区での「未来の住職塾」に有志で特別参加したことや、個人的には企業や病院主催の人生会議で講演などを行ったことである。その結果、法話をもっと聞きたい人が少なからずいることの手応えを感じている。

この組活動について、昨年お亡くなりになった池田勇諦先生にご報告し、先生から直筆の励ましのお手紙を戴いた。真宗教化の基本三項目として、何を聞くのか（自己とは何ぞや）、何故聞くのか、どう聞くのかをお示し戴いた。先生の御遺言として受け止め、今後の活動の基軸として展開していきたい。

企業で働いていた時に、親鸞哲学を少しでも知っていたら、違った働き方があったと思ひ、この教化が宗門の責務だと改めて思う。まだ手探り状態であるが、ミッション達成に向け、多くの方からご意見ご助言を当組に戴きたく宜しくお願ひ致します。

※1 宗憲…宗派の基本姿勢を規則として成文化したもの。



# ひとひと 男と女の平等つ て、なに？

## ジャイアンの悲しみ

教化本部長 近江第1組 響忍寺 沙加戸 崇



日曜日の夕飯時、「サザエさん」の声優が交代されたことで随分印象が変わると家族で話題になった。アニメではよくあることだが、「ドラえもん」

ままごと遊びはすべきことではないということなのでしょう。ジャイアンの感覚はそのことを恥ずかしいと認識しています。では私はどうか。粗暴な

もしかり。その時息子が言うには、「ドラえもん」はそのセリフも変更されたことがネット上で話題になっているとのこと。それはジャイアンの秘密であるままごと遊びを見つけたドラえもんが、原作では「男のくせに、やあやあ」と囃し立てるところが「えっ？ 別に隠すことじゃないのに…」と変更されていると言うのだ。家族では、今時だな、とか上手に変えたと話していた。

ジャイアンがままごと遊びが趣味であることを意外である、ギャップを感じるということは、それこそが、ジャイアンを苦しめる価値基準から生まれた感覚です。

変更された「ドラえもん」は、隠そうとするジャイアンの感覚が古いとか、なぜ隠そうとするのか理解できないということなのでしょうか。一方ジャイアンは、男子たるもの、

私たちは今、男女共同参画の学習を積み重ねていますが、いったいどんな姿を目指しているのでしょうか。共同参画という言葉掲げて学習する歩みの中で、世代間や個人で随分と違いがあることが事実です。時間の経過とともに変わ

## ことばの奥にあるもの

出版部会 石西組 専龍寺 前田 素子



子どもがケガをする可能性がある時——例えば、子どもが竹串や割り箸など棒状の物を持つたまま走り回っていたら、あなたはどうしますか？

見えない人がいたら、そう言うのか、言えるのか。そばに目が見えない人がいて今の言葉を聞いたら、どんな気持ちになるか、させてしまうのか……。

私の場合、まずは何も言わずに見守ろうと努めます（ただし気持ちに余裕がある時）。そのうち子どもが飛んだり跳ねたり前回りをしたり、行動が激しくなったら「持ったままだと危ないよ、ケガをするよ」となるべく穏やかに伝えます（ただし気持ちに余裕がある時）。さらに何回言っても子どもが止めず、棒状の物を手放さなければ（この頃には余裕もなくなっています）脅しがかかります。「目に刺さったら目が見えなくなるよ」と。

何より私のこの固定観念は、言われた子どもたちに植えつけられてしまうでしょう。恐ろしいことです。その後しばらく、私は子どもと話すのが怖くなりました。それから「目に刺さったら痛い思いをするよ」と言うようにしました。

そこでハッとしました。目は見えないことが前提で、見えないことはマイナスだと思っている自分の固定観念に。そして考えました。もし家族や身近な人に目の

しかし、いくら言い方を変えても、根底にある私の観念がなくなることはありません。怖い気持ちもいつの間にか薄れ、相変わらず何ごとも良し悪しで比較判断し、自分を守り正当化するのが一番で、都合の悪いことは思いっきり他人や時代のせいになっています。

京都教区 3月の教区事業

2/28日(土)・3/1日(日)終日	青少幼年教化研修会(青少幼年部会)	教区会館
4日(水) 9:30~15:30	真宗基礎講座(Zoom併用)(教区坊守会)	教区会館2階大講堂
4日(水) 15:00~18:00	声明会(教区准堂衆会)	教区会館3階研修室
5日(木)・6日(金)終日	春期教師試験検定準備学習会(研修講座部会)	教区会館
12日(木)・13日(金)終日	伝道研修会【下半期】(研修講座部会)	教区会館
25日(水)・26日(木)終日	得度事前学習会【京都会場】(研修講座部会)	教区会館
25日(水)~27日(金)終日	得度事前学習会【長浜会場】(長浜教化センター)	大谷会館講堂
26日(木)~29日(日)終日	保養事業(福島の子どもたち一時避難受け入れの会)	大谷大学湖西キャンパス
27日(金) 9:00~16:00	春の子ども本山参り(教区児童教化連盟)	真宗本廟(東本願寺)

京都教区 3月の教区諸会議

11日(水) 13:30~16:30	教化本部 企画室	教区会館2階大講堂
17日(火) 13:30~17:00	教化本部 教化調整協議会	教区会館2階大講堂
18日(水) 13:00~17:00	財政委員会 総会	教区会館2階大講堂
19日(木) 13:30~16:30	教化本部 出版部会 編集会議	Web会議(Zoom)



「是旃陀羅」問題 教区学習会  
 開催日時 2026年4月21日(火) 午後1時30分~4時30分  
 参加方法 ①しんらん交流館、またはサテライト会場に在所して参加  
 講師 宮下晴輝師(前教学研究所長) 『御同朋を生きる』  
 テキスト (発行 真宗大谷派宗務所) 教化本部(企画室) 主催

教務所からのお知らせ  
 長浜教務支所の現金取扱い日について  
 長浜教務支所の現金取り扱いは、左記のとおりです。  
 3月9日(月) 3月23日(月)  
 4月6日(月) 4月20日(月)  
 5月11日(月) 5月25日(月)  
 6月8日(月) 6月22日(月)



「教区がより」公開講演会の開催について  
 開催日時 2026年4月27日(火) 午後1時30分  
 講師 橋本真師(本山企画調整局参事)  
 テーマ 文書伝道について  
 会場 教区会館2階大講堂  
 参加費 無料

お知らせとお願い  
 「東山浄苑東本願寺」の広告を見て、納骨についてのお問い合わせが寄せられています。この施設は、京都の真宗本廟(東本願寺)を本山とする真宗大谷派とは無関係の別法人の納骨施設です。ご門徒の皆様には混乱が生じないよう、あらためて各寺院から周知くださいますようお願い申し上げます。  
 なお、真宗大谷派のご門徒の納骨については、真宗本廟や大谷祖廟にて受け付けております。  
 真宗本廟 本廟部参拝接待所 (電話 075-137119210)  
 大谷祖廟 (電話 075-5611077)

依頼「令和六年能登半島地震」災害に対する救援金の勧募について  
 2024年1月1日に発生した能登半島地震に対して、これまで、教区内のみならず、被災地の支援にご理解をたまり、救援金をお寄せいただいておりますこと、この場をお借りして御礼を申し上げます。  
 このたびの地震の影響を受けた北陸の地は、真宗門徒の多い地域であります。とりわけ震源地である能登地方は多くの寺院・ご門徒が甚大な被害を受け、今もなお深い悲しみと不安の日々を過ごされております。真宗大谷派として、今後も全力を傾注して支援策を講じてまいります。  
 地震発生直後から、真宗大谷派寺院の被害状況や今日までの支援活動の様子などは、真宗大谷派Webサイト内でも随時お知らせ更新しております。また、公式SNS(X)でも発信しています。  
 京都教区としても、息の長い被災地支援を続けてまいりたいと存じます。なにとぞ趣旨をご賢察たまわり、救援金勧募などの被災地の支援に引き続きご協力くださいますようお願いいたします。  
 真宗大谷派Webサイト内  
 令和6年能登半島地震について  
 災害情報公式X(旧ツイッター)  
  


京都教区別院 3月の行事予定

1日(日) ~ 4/ 8日(水)	長浜	大通寺馬酔木展	長浜別院
4日(水) 13:30 ~ 15:30	山科	同朋の会 法話 磯野 恵嗣 師 (教区駐在教導)	山科別院
5日(木) 12:00 ~ 13:00	赤野井	定例法要 (教如上人御命日速夜) 法話 中川 眞 師 (別院輪番)	赤野井別院
5日(木) 14:00 ~ 15:30	山科	定例法話 法話 近藤 唯遊 師 (山城第1組 正善寺)	山科別院
5日(木) 14:00 ~ 16:00	五村	五日会連続講座 (第1回) 法話 東館 紹見 師 (東北教区 善林寺)	五村別院
6日(金) 14:00 ~ 16:00	伏見	声明作法講座 法話 浅井 誠 師 (山城第3組 皆演寺)	伏見別院
9日(月) 9:00 ~ 11:00	山科	おみがき	山科別院
10日(火) 14:00 ~ 18:00	伏見	同朋会 物故者追弔会・おみがき	伏見別院
11日(水) 14:46 ~	五村	勿忘の鐘	五村別院
11日(水) 14:46 ~	長浜	勿忘の鐘	長浜別院
13日(金) 10:00 ~ 11:30	岡崎	三日講「歎異抄を読む」法話 近藤 悠 師 (別院輪番)	岡崎別院
18日(水) 10:00 ~ 11:50	長浜	春季彼岸会	長浜別院
18日(水) 12:00 ~ 13:00	赤野井	春季彼岸会法要 法話 中川 眞 師 (別院輪番)	赤野井別院
19日(木) 10:00 ~ 11:50	長浜	春季彼岸会	長浜別院
20日(金) 10:00 ~ 11:50	長浜	春季彼岸会	長浜別院
20日(金) 14:00 ~ 15:00	山科	春彼岸会法要 (法要後、墓地名号碑前にて墓前勤行)	山科別院
20日(金) 14:00 ~ 16:00	大津	春季彼岸会兼永代経 法話 大橋 尚代 師 (大塚教区 専徳寺)	大津別院
22日(日) 14:00 ~ 16:00	伏見	彼岸会 法話 武田 未来雄 師 (山城第2組 浄泉寺)	伏見別院
23日(月) 9:30 ~ 11:50	五村	春季彼岸会兼永代経法要 法話 藤森 千春 師 (長浜第23組 真西寺)	五村別院
23日(月) 10:00 ~ 12:00	岡崎	春季彼岸会兼永代経総経 法話 乙部 大信 師 (大阪教区 恩楽寺)	岡崎別院
24日(火) 9:30 ~ 11:50	五村	春季彼岸会兼永代経法要 法話 富士野 秀峰 師 (本願寺派 勤明寺)	五村別院
24日(火) 14:00 ~ 16:00	山科	蓮如上人御正当法要 速夜 法話 鶴見 晃 師 (同朋大学教授)	山科別院
24日(火) ~ 5/17日(日)	長浜	早川鉄兵氏切り絵障子展示	長浜別院
25日(水) 9:30 ~ 11:50	五村	春季彼岸会兼永代経法要 法話 早川 直子 師 (近江第8組 上宮寺)	五村別院
25日(水) 10:00 ~ 12:00	山科	蓮如上人御正当法要 (日中) 法話 鶴見 晃 師 (同朋大学教授)	山科別院
27日(金) 12:00 ~ 13:00	赤野井	定例法要 (宗祖親鸞聖人御命日速夜) 法話 中川 眞 師 (別院輪番)	赤野井別院
27日(金) 14:00 ~ 16:00	伏見	ご命日のつどい 法話 中村 修司 師 (山城第4組 西念寺)	伏見別院
29日(日) 14:00 ~ 15:00	山科	永代経兼物故者追弔会 法話 藤本 正信 師 (近江第9組 真照寺)	山科別院

京都教区公式SNSあります



公式SNSで更新情報などを配信しています。  
1,000カ寺を超える寺院・教会がある京都教区ですが、登録者数はまだまだ少ないです！ぜひご登録をお願いします！

LINE公式アカウント  
2026年2月2日現在  
登録者数281名  
LINE ID @441foywe

Facebook, Instagram  
もちろんあります！

編集後記

私は門徒戸数が多いとはいえない寺の住職を務めています。毎年、ご門徒が亡くなられることはそんなにありませんが、今年は新年早々満91歳、男性の葬儀をお勤めいたしました。高校で農業を教え、定年後も田んぼと畑の世話をし続け、亡くなる十日前まで畑におられました。まさに土と共に生きた方でした。「生まれては 死ぬるなりけりおしなべて 釈迦も達磨も 猫も杓子も」という一休禅師の詩を、彼岸を迎えるこの時期に切実に感じます。(出版部会 井上 教真)

【表紙の写真】「元気にお参り」(石川慎吾/山城第1組憶念寺)

